



記者発表日

平成29年10月31日

■同時発表先：鳥取県政記者会  
中国地方建設記者クラブ

## 新技術・新工法の普及、活用を図るため、 建設技術開発交流会（鳥取県）を開催します

最先端の建設に関する技術を扱う民間の技術者『産』、大学や高専の先生『学』、行政担当者『官』が、新技術・新工法や防災対策等についての発表を通じて、一般の方を含む多くの方が建設技術の情報を共有することを目的とした「中国地方建設技術交流会」を開催します。

■日 時：平成29年11月7日（火）10：00～16：15

■場 所：倉吉未来中心 小ホール（鳥取県倉吉市駄経寺町212-5）

■開催内容：詳細なプログラムは、次頁のとおり。

■主 催：中国地方建設技術開発交流会 実行委員会※

■備 考：・事前申込み手続きは不要、入場無料です。

・受付は9時30分から行います。

・全て公開で実施し、撮影は可能です。

・取材を希望される場合は、事前に下記問合せ先までご連絡いただきますようお願いいたします。

※「中国地方建設技術開発交流会 実行委員会」は、中国地方の5県・政令2市、国土交通省中国地方整備局、公益法人等21団体の計29団体で構成されています。

### 問 合 せ 先

## 国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所



総括技術情報管理官      もりやま ひろし  
森山 博

防災・技術課長              よしむら たくし  
吉村 卓志

住 所：広島県広島市安芸区船越南2丁目8番1号

電 話：082-822-2340（代表）

URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/>

# 中国地方建設技術開発交流会

2017

安全、安心で豊かな暮らしを目指して

～社会資本の効果的な老朽化対策・生産性向上及び防災・減災への取り組み～

鳥取県  
会 場

●入場無料

●事前申込不要

●CPD取得

開催日 平成29年**11月7日**(火)

場 所 **倉吉未来中心 小ホール**  
鳥取県倉吉市駄経寺町212-5

## タイムスケジュール

10:00	開会挨拶	鳥取県 県土整備部 次長 丸毛 裕治
10:05	基調講演 <u>コンクリート</u> 構造物の長寿命化に向けて	鳥取大学大学院 工学研究科 教授 黒田 保
10:55	特別発表 「ICTの全面的な活用」 ～i-Constructionの取り組みの展開について～	国土技術政策総合研究所 社会資本施工高度化研究室長 森川 博邦
11:35	モニタリング技術の課題と展望	鳥取大学大学院 工学研究科 准教授 中村 公一
12:00	休 憩 ( 昼 食 )	
13:00	ICT施工技術活用 推進への取り組みについて	倉吉河川国道事務所 河川管理課 三之本 幸治
13:25	鳥取県中部地震からの復興(福興)について	鳥取県中部総合事務所 県土整備局 維持管理課 清水 丈二 鳥取県中部総合事務所 県土整備局 計画調査課 露木 嵩之
13:50	階層分析法と地理情報システムを用いた中国地方におけるランドスライド危険度評価手法の提案とその適用	鳥取大学大学院 工学研究科 講師 河野 勝宣
14:15	休 憩	
14:30	車載式トンネル3Dスキャニングシステムの開発と適用	【日本建設業連合会】西松建設(株) 技術研究所 山本 悟
14:55	簡易式路上表層再生工法「ヒートスティック」の供用性評価と新たな機能の付加	【日本道路建設業協会】鹿島道路(株) 技術研究所 五傳木 一
15:20	劣化損傷した既設橋の鋼管杭と上部工の接合部の巻立て補強技術「タフリードP」工法」の開発	【日本埋立浚渫協会】東亜建設工業(株) 技術研究開発センター 新材料・リニューアル技術グループ 網野 貴彦
15:45	生産性向上 コマツの『スマートコンストラクション』	【日本建設機械施工協会】コマツレンタル(株) 中国スマートコンストラクション推進室 林 成佳
16:10	閉会挨拶	中国地方整備局 中国技術事務所長 野村 正之

※やむを得ず開催内容に変更が発生する場合は御承ください。

※昼食は各自でお願いします。

主催：中国地方建設技術開発交流会 実行委員会  
 構成団体：鳥取県、鳥根県、岡山県、広島県、山口県、岡山市、広島市、国土交通省中国地方整備局、  
 (公財)鳥取県建設技術センター、(公財)鳥根県建設技術センター、(公財)岡山県建設技術センター、(一財)山口県建設技術センター  
 中国土木施工管理技術士会連合会、建設業協会中国ブロック協議会、(一社)中国建設弘済会、(一社)日本建設業連合会、  
 (一社)日本道路建設業協会、(一社)日本建築建設協会、(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会、  
 (一社)建設コンサルタント協会、(一財)日本建設情報総合センター、(一社)日本建設機械施工協会、  
 (一社)全国コンクリート製品協会、(一社)日本鉄鋼連盟、(一社)全国特定法面保護協会、(一社)日本造園建設業協会、  
 (一社)全国道路標識・標系業協会、(一社)建設電気技術協会、(一社)日本埋立浚渫協会  
 事務局：国土交通省中国地方整備局中国技術事務所  
 共催：(公社)土木学会中国支部、(公社)地盤工学会中国支部、(公社)日本技術士会中国本部、(公社)日本コンクリート工学会中国支部

中国地方建設技術開発交流会は下記団体の継続学習制度(CPDプログラム)の認定を受けています。(順不同)  
 (一社)全国土木施工管理技術士会連合会、(一社)建設コンサルタント協会、(一社)全国測量設計業協会連合会、  
 (公社)日本建築士会連合会、(一社)全日本建設技術協会

建設業CPD協議会に加盟する下記団体については、CPD単位相互承認制度をご利用ください。(順不同)  
 (公社)空気調和・衛生工学会、(一財)建設業振興基金、(公社)地盤工学会、(一社)森林・自然環境技術者教育会、  
 (公社)土木学会、(一社)全国地質調査業協会連合会、(一社)日本環境アセスメント協会、(公社)日本技術士会、  
 (公社)日本造園協会、(公社)日本都市計画学会、(公社)農業農村工学会、(一社)交通工学研究会、  
 (一社)全国上下水道コンサルタント協会

※午後からのみ等、途中からの参加ではCPD単位を取得できませんので、予め御了承ください。

